

機械器具 7 内臓機能代用器
高度管理医療機器 連続ポータブル腹膜灌流用運搬セット 35986000

JMS CAPDエキステンションチューブ

再使用禁止

*(交換キット)

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

1. カテーテルクランプ
2. 手袋
3. トレイ
4. 綿棒
5. ガーゼ
6. シーツ
7. アダプタホルダ
8. マスク
9. 消毒用キャップ

**・本品には以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
手袋	ポリ塩化ビニル
綿棒	綿
穴あきシート	セルロース、ポリプロピレン、ポリエチレン
マスク	ポリプロピレン、ポリエステル、ポリウレタン

【使用目的又は効果】

連続携帯式腹膜灌流(CAPD)を行う際に、カテーテルと腹膜透析液の容器を接続するために用いる。

**【使用方法等】

**〈組み合わせて使用する医療機器〉

本品はJMS CAPD接続チューブ(承認番号 21600BZZ00352000)(以下、接続チューブという。)の交換に使用します。

〈使用方法〉

1. 本品のほか、接続チューブ、消毒液(10%ポビドンヨード水溶液)、腹膜透析液、バッグ交換セットを用意します。
2. 本品の包装を開封します。
3. マスクを着用します。
4. シーツを広げてカテーテル出口部の下に敷きます。
5. 消毒用キャップとガーゼに消毒液を含浸させます。
6. 手洗いをし、手袋を着用します。
7. 消毒液含浸のガーゼでカテーテルと接続チューブの接続部を十分に拭拭します。
8. カテーテルクランプを完全に閉じます。
9. カテーテルアダプタ本体及び接続チューブのコネクタにそれぞれアダプタホルダを装着し(図 1)、アダプタホルダをひねって接続チューブを取り外します(図 2)。又は、カテーテルアダプタにアダプタホルダを装着し、接続チューブのコネクタを消毒液含浸のガーゼで保持し、接続チューブを取り外します。
※アダプタホルダは、カテーテルアダプタ本体及び接続チューブコネクタの平たい部分を押さえるようにして使用します。

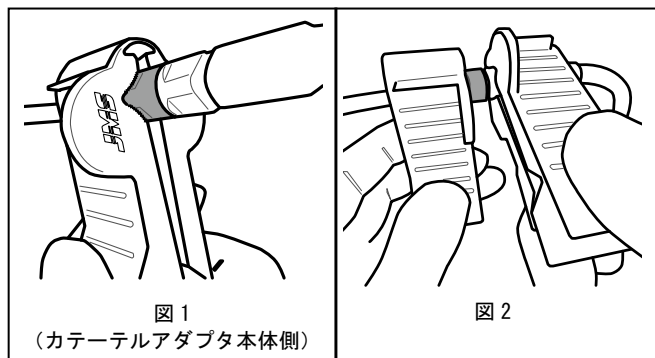


図 1
(カテーテルアダプタ本体側)

図 2

10. 消毒液含浸の消毒用キャップをカテーテルアダプタに装着します(装着後、5 分以上放置します。)
11. シーツをアダプタホルダ、カテーテルアダプタ、消毒用キャップの下に広げます。
12. 手袋を外します。
13. 接続チューブの包装を開封します。
14. 手洗いをし、新しい手袋を着用します。
15. 新しい接続チューブのクランプを閉じます。
16. カテーテルアダプタを消毒用キャップから取り外し、接続チューブをカテーテルアダプタに接続します。必要であれば、スパナを用いて接続チューブのコネクタを保持し、しっかりと締めます。
17. 腹膜透析液を接続後、アダプタホルダ及びカテーテルクランプを取り外し、接続チューブのクランプを開放して、排液を開始します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. カテーテルクランプを閉じる際は、カテーテルアダプタから 3～4cm 離れた位置にクランプを装着し、閉塞すること。[カテーテルアダプタに近い位置でクランプすると、カテーテルが破損するおそれがある。]

**【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 各接続部を汚染させないこと。[腹膜炎を併発するおそれがある。]

**〈不具合・有害事象〉

1. その他の有害事象
腹膜炎

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

1. 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

〈有効期間〉

1. 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：03-6404-0602(第二営業部)